

先週のマーケット動向(1月2日~1月6日)

為替、株式

| | Open | High | Low | Close | Chg |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,261.0 | 1,280.9 | 1,260.2 | 1,268.6 | +4.1 |
| JPY/KRW | 9.6245 | 9.8190 | 9.4185 | 9.4622 | +0.012 |
| KOSPI | 2,249.95 | 2,300.62 | 2,180.67 | 2,289.97 | +53.57 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場はほぼ横ばい。この日は2023年初日であったため市場は10時に開始。年末に出た日銀によるCPI見通しを修正報道を受けて、円買い主導でのドル売りが進行するなか、ドル/ウォンは1,261.0ウォンでオープン。週前半は取引参加者に乏しい中、ドル/ウォンは実需取引により振り回される展開。4日には週高値1,280.9まで上昇した。しかし、その後は外国人投資家による買いが継続的に入る中ドル/ウォンは次第に反落。海外時間にはドル買いが進む局面も見られたものの、ドル/ウォンに関しては上値の重い展開が継続した。6日にはドル/ウォンのロングポジションのロスカットと思しきフローもあり、1,260.2まで下落した。結局、先週対比4.1ウォン上昇した1,268.6ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは下落する展開を予想する。週初は先週末に発表された米ISMサービス業指数をきっかけに米長期金利が大きく低下しており、ドル売り主導での下落が続きやすいだろう。週後半には、18日にある日銀金融政策決定会合が市場で意識され、円買い主導でのドル売りフローもありこちらもドル/ウォンの下落要因となるのではなかろうか。なお、韓国においてもインフレ鈍化が見られている中、今回のBOK会合(13日)が市場へ与える影響は限定的に留まろう。

予想レンジ

| USD/KRW | JPY/KRW | USD/JPY |
|-------------|-------------|---------------|
| 1235 ~ 1265 | 9.35 ~ 9.60 | 131.0 ~ 133.0 |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 9日(月) 中 12月 PPI
中 12月 CPI
- 10日(火) 中 12月 鉱工業生産
中 12月 小売売上高
韓 11月 国際収支
日 12月 東京都区内CPI
- 11日(水) 韓 12月 失業率
- 12日(木) 米 12月 CPI
日 11月 国際収支
- 13日(金) 中 12月 貿易収支
米 1月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
韓 BOK 政策金利発表
中 4Q GDP